

毛呂山町マスコットキャラクター
もろ丸くん

議会だより

発行／毛呂山町議会
編集／毛呂山町議会だより編集委員会

MOROYAMA ASSEMBLY NEWS

もろやま

〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地 TEL 049-295-2112 URL <http://www.town.moroyama.saitama.jp/kakuka/gikai/>



9月の定例会

平成26年度一般会計決算認定	2～3P
平成26年度特別会計決算認定	4P
平成27年度補正予算・審議結果	5P
条例の制定・改正など	6P
常任委員会レポート	7P
一般質問	8～13P
人事・議会の動き	14P

運動会(泉野小学校)

平成27年11月1日発行

第 90 号

90

議会だよりは議員の自主編集により発行し、この用紙は再生紙を使用しております。

一般会計決算を認定

(賛成多数認定)

9月議会 定例会

歳入総額	104億2,377万6千円 (前年比3.9%減)
歳出総額	100億1,533万7千円 (前年比4.5%減)
歳入歳出差引額	4億843万9千円 (うち翌年度に繰越すべき財源1億33万7千円)
実質収支額	3億810万2千円

○歳入内訳

科目	決算額
町 税	36億7,939万3千円
地方譲与税	8,985万7千円
利子割交付金	687万6千円
配当割交付金	3,105万円
株式等譲渡所得割交付金	1,898万4千円
地方消費税交付金	3億6,032万2千円
ゴルフ場利用税交付金	6,681万5千円
自動車取得税交付金	1,744万4千円
地方特例交付金	1,859万5千円
地方交付税	20億3,211万円
交通安全対策特別交付金	465万3千円
分担金及び負担金	9,930万1千円
使用料及び手数料	7,164万円
国庫支出金	11億8,498万3千円
県支出金	7億4,803万8千円
財産収入	550万8千円
寄附金	60万2千円
繰入金	4億630万2千円
繰越金	3億6,440万8千円
諸収入	1億1,662万1千円
町 債	11億27万5千円
合 計	104億2,377万6千円

○歳出内訳

科目	決算額
議会費	1億1,287万7千円
総務費	12億4,462万2千円
民生費	34億3,983万7千円
衛生費	7億3,511万3千円
労働費	3,003万2千円
農林水産業費	2億4,593万円
商工費	4,904万8千円
土木費	10億6,823万8千円
消防費	6億1,570万7千円
教育費	13億6,705万7千円
災害復旧費	0円
公債費	8億738万6千円
諸支出金	2億9,948万9千円
予備費	0円
合 計	100億1,533万7千円



平成27年9月定例会は、9月1日から18日まで、18日間の会期で開催されました。今議会に提案されました案件は、条例の制定2件、条例の一部改正3件、条例の廃止1件、補正予算5件、決算認定6件、未処分利益剰余金の処分1件、人事3件、諮問2件、委員会発議2件、報告2件、合計27件が上程され慎重なる審議をしました。なお、今議会による一般質問は11名が登壇し、活発な質問が展開されました。

26年度主な事業

● 介護給付費・訓練等
給付費
(4億7714万円)

● 児童手当費
(4億9272万円)

● 武州長瀬駅北口周辺
地区整備事業工事請
負費
(1億8912万円)

● 埼玉西部環境保全組
合負担金
(3億8899万円)

● 西入間広域消防組合
負担金
(5億9863万円)

● 川角中学校大規模改
造工事請負費
(3億3174万円)

平成26年度町税収入内訳

科 目	収 入 額
町 民 税	18億5,502万4千円
固 定 資 産 税	14億1,262万9千円
軽 自 動 車 税	6,397万円
町 た ば こ 税	2億2,891万5千円
入 湯 税	53万4千円
都 市 計 画 税	1億1,832万2千円
合 計	36億7,939万3千円

町民一人あたりに
使われているお金は？

¥28万4964円です

(平成27年3月31日の人口で計算しています。)



一般会計決算 認定討論

賛成討論

〔澤田 蔵 議員〕

本町の実質収支は3億810万円あまりとなっていて一般財源を極力抑制しつつ国・県の補助金を積極的に活用し住民サービスの向上に取り組んだ結果だと認識いたします。特に防災行政無線デジタル化実施設計業務・太陽光発電の取り掛かりや福祉会館の耐震補強工事・泉野小学校消防・放送改修工事等は安心安全な町づくりへの取り組みと評価でき、中学校大規模改造事業・空調設備設置事業などは児童生徒の基礎学力向上のために教育環境の整備・充実に取り組んでいる成果だと認識できます。町の更なる発展を期待して賛成討論とします。

一般会計決算 認定討論

〔平野 隆 議員〕

本町の財政状況は、長らく景気の低迷等により依然として厳しい状況が続いておりますが、そのような中において、本決算は、第四次毛呂山町総合振興計画に揚げられた「緑とふれあいの文化都市もろやま」の実現を目指し、多くの分野において各種事業を適切、着実に執行したことが随所に認められるものであります。

今後、健全な財政運営を保ちながら、井上町長を中心に職員が一丸となり、引き続き特段のご努力をされることをお願いしあげ、平成26年度毛呂山町一般会計歳入歳出決算に対しまして、私の賛成討論とさせていただきます。



平成26年度

特別会計決算

国民健康保険

○一般被保険者

平均被保険者数

1万448人

療養の給付：1人当たり

費用額 34万円

○退職被保険者

平均被保険者数

539人

療養の給付：1人当たり

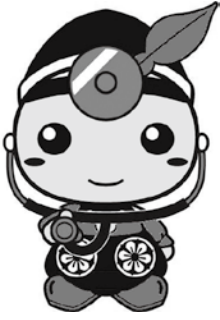
費用額 41万円

決算額は、歳入総額49億

5508万円。歳出総額46

億8920万円です。

(全員賛成認定)



水道事業

○年度末給水戸数

1万5681戸

○年度末給水人口

3万5034人

○年間配水量

454万5205^m

収益的収入の決算額8億

1043万円、支出の決算

額7億3560万円。

資本的収入の決算額50

93万円、支出の決算額は

3億5075万円です。不

足額2億9982万円は補

填財源より補填しました。

(全員賛成認定)



金塚浄水場(毛呂本郷地内)

未処分利益剰余金の処分

水道事業会計の未処分利

益剰余金19億8011万円

は、減債積立金に2千万円、

建設改良積立金に5千万円

を積立て、自己資本金に18

億8102万円を組み入れ、

残金を繰り越しました。

(全員賛成可決)

農業集落排水事業

農業集落における汚水等

を処理する施設の整備によ

り農業用排水の水質汚濁

を防止し、農村地域の健全

な水循環に資するとともに

農村の基礎的な生活環境の

向上を目的とした事業。

○加入戸数 171戸

葛貫地区 101戸

大谷木地区 70戸

決算額は、歳入総額30

85万円。歳出総額236

8万円。歳入歳出差引額は

716万円です。

(全員賛成認定)



農業集落排水施設(葛貫地内)

介護保険

○被保険者数

1万6人

○要介護認定者数

1189人

決算額は、歳入総額20億

394万円。歳出総額は19

億3680万円です。

(全員賛成認定)



後期高齢者医療

○被保険者数

4018人

○一人当たり年間保険料

5万4979円

決算額は、歳入総額3億

1535万円。歳出総額は

3億805万円です。

(全員賛成認定)

平成27年度

補正予算

一般会計(第2号)

一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ12億3803万円を追加し、予算総額を111億9669万円としました。

(賛成多数可決)

国民健康保険(第1号)

国民健康保険特別会計補正予算は、歳入歳出それぞれ2億2543万円を追加し、予算総額を54億1252万円としました。

(賛成多数可決)

農業集落排水(第1号)

農業集落排水事業特別会計補正予算は、歳入歳出それぞれ318万円を追加し、予算総額を3287万円としました。

(全員賛成可決)

介護保険(第1号)

介護保険特別会計補正予算は、歳入歳出それぞれ638万円を追加し、予算総額を22億200万円としました。

(全員賛成可決)

後期高齢者医療(第1号)

後期高齢者医療特別会計補正予算は、歳入歳出それぞれ36万円を減額し、予算総額を3億2068万円としました。

(全員賛成可決)



議案の審議結果(9月定例会)

○は賛成 ×は反対 退は退席 討は討論 欠は欠席 議は議長

議案	下田 泰章	平野 隆	澤田 巖	牧瀬 明	弓田 茂樹	佐藤 秀樹	荒木 かつおる	千葉 三津子	村田 忠次郎	岡野 勉	小峰 明雄	高橋 達夫	長瀬 衛	堀江 快治	審議結果	
37 毛呂山町教育委員会教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	討	○	○	○	議	可決
38 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議	可決
39 毛呂山町個人情報保護条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	討	○	○	○	議	可決
40 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
41 毛呂山町手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
42 毛呂山町住民基本台帳カードの利用に関する条例を廃止する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
43 平成27年度毛呂山町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	討	○	○	○	議	可決
44 平成27年度毛呂山町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
45 平成27年度毛呂山町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
46 平成27年度毛呂山町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
47 平成27年度毛呂山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
48 平成26年度毛呂山町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	討	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	議	認定
49 平成26年度毛呂山町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認定
50 平成26年度毛呂山町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
51 平成26年度毛呂山町水道事業決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認定
52 平成26年度毛呂山町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認定
53 平成26年度毛呂山町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認定
54 平成26年度毛呂山町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認定
55 教育委員会委員の任命について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意
56 固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意
57 固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意
諮問1 人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	答申適任
諮問2 人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	答申適任
発委1 毛呂山町議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議	可決
発委2 毛呂山町議会会議規則の一部を改正する規則	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決

主な条例の制定・改正

反対討論

岡野 勉 議員

議案第37号
毛呂山町教育委員会教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例

《賛成多数可決》

要旨

改正前は、教育委員会が委員長以外の教育委員の中から教育長を任命するというものでしたが今般の改正では、教育長は首長が直接議会の同意を得て任命するという特別職に一本化されました。なお新しい法では「教育長は常勤とする」と規定されており、この職務に専念する義務の特例に関する条例が必要になりました。

問 町長が教育長を選任できる権限を持っている以上、選任する町長の権限は、教育に対し、今まで以上に行使されるのではないのでしょうか。

答 今般の法改正の大きな背景になったのが、大津市における中学生の事件問題がございました。そのときに従来から言われていた教育委員会というのは、教育委員長が責任者なのか教育長が責任者なのかわかりづらいとか、会議の身が閉鎖的でよくわからないとか、そういった指摘が従来からあったわけですけども、その事件を契機に、今般の法改正につながったというふうに認識しております。その従来の教育委員会制度のあり方を少し改めるといっても、住民の皆様から選挙で選ばれた首長がその首長の考えのもとに教育長を直接任命するという意味で、より民意が反映された教育長が選任されるだろうといったような、そんな意味合いもあって法改正になったというふうに思っております。

これまでの「教育長」は、教育委員の互選により任命されていた。しかし、新「教育長」は首長が直接任命する。町長は「教育の政治的中立性」は保たれると述べましたが、当然首長の意向・権限が強まる。

また、首長が町の教育の方向性を決定付ける「大綱」を作成するところ。これは違う・逆で、教育委員会こそが「自信と責任」において大綱を作るべきだと思う。なお、選挙によって政治的傾向の異なる首長が選ばれば、それまで行われていた教育行政が突然変化し、教育の継続性に影響が出て一定の安定性をもって教育を実施することが困難となる。以上の理由を持って反対します。

議案第41号
毛呂山町手数料条例の一部を改正する条例

《賛成多数可決》

要旨

平成27年10月から住民票を有する全ての人に、一人一つのマイナンバー（個人番号）が通知されました。マイナンバーの通知後に市町村に申請すると、平成28年1月から交付され、身分証明書や様々なサービスに利用出来る個人番号カードが交付されます。

新規発行手数料	無 料
通知カード再発行手数料	500円
個人番号カード再発行	800円

議案第42号
毛呂山町住民基本台帳カードの利用に関する条例を廃止する条例

《賛成多数可決》

要旨

住民基本台帳カードを利用した証明書自動交付機の廃止に伴い毛呂山町住民基本台帳カードの利用に関する条例を廃止するもの。

常任委員会レポート

9月9、10、11日の3日間、総務文教常任委員会（一般会計決算、条例制定・改正）
生活福祉常任委員会（一般会計決算・特別会計決算）に付託された審査を行いました。

生活福祉常任委員会

委員長 千葉三津子

問 毛呂山町は単身世帯が全世帯の半分近いが国保滞納世帯が多くはない、短期被保険者証発行数も減っているがどういう傾向か。

答 滞納者に対して税務課と協力して少しでも税を入れてくれる方に対しては、一般の保険証を発行するようにしている。

問 毛呂山町の介護保険が安いという背景は。

答 毛呂山町の介護保険料の基準は4,140円で安いほうから4番目、この介護事業を3年間で見直し、3年間ローリングで保険料を決定していく。毛呂山町のように人口の低いところは介護保険料は基準額より高くなる傾向だが本町の場合は医療面のほうに高齢者の方々が移行しやすいようだ。

問 健康体操ゆずっこ元気体操について、1次予防事業成果が増えたり減ったりしているが。

答 1次予防2次予防は各事業所の報告通りに行っている。特に昨年度はゆずっこ元気体操がおもりの使った筋力向上、体幹機能等の向上に非常に効果的な体操である。本町だけの事業ではあるが一昨年4地区、今年度も4地区が新たに立ち上げた。本当に効果のある体操である。



町道第7号路線視察

総務文教常任委員会

委員長 弓田 茂樹

問 教育長代理とは、どのような方か。

答 教育委員の中から教育長が指名する方であり
ます。

問 町民税で前年度比増額とあるが、人口が微小している中どのような要因か。

答 均等割を、26年度から防災事業に必要な財源を確保するために3,000円から3,500円に、500円の増額をしていることが大きな要因となっております。

問 町内循環バスについて、有料化に伴い、利用率として、どのような結果になっているか。

答 4月から9月までの無償運行分、それと10月から3月までの有償運行分の減少率につきましては、マイナスの31%というところがございます。

問 中学校費において、不用額が大きいのが、この理由は。

答 川角中学校大規模改造工事と中学校空調設備設置工事において、繰越明許という関係で補正対応ができなかったものであります。



川角中学校視察

いっぱん質問

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

質問議員と質問事項

- | | |
|---------|--|
| 長瀬 衛議員 | ①地域の課題と地域力強化策
②南部地区活性化エリアへの商業施設の追加 |
| 小峰 明雄議員 | ①教育・子育て環境の充実
②健康づくり |
| 平野 隆議員 | ①町の将来像
②農作物の被害状況
③マイナンバー
④町の道路、歩道
⑤登校困難児童生徒の現状 |
| 千葉三津子議員 | ①高齢者の支援対策
②18歳選挙権導入に伴う取組み
③川角駅周辺整備事業 |
| 佐藤 秀樹議員 | ①空き家対策
②安心安全な町づくり
③地域活性・地域住民生活等緊急支援等交付金 |
| 荒木かおる議員 | ①地域防災
②平和教育
③道德に関する新指導要領 |
| 下田 泰章議員 | ①観光
②個人事業の活性化 |
| 澤田 巖議員 | ①瀬戸大也選手応援
②西大久保地内床下浸水被害
③指定管理者制度 |
| 牧瀬 明議員 | ①国保
②新総合事業
③地方交付税 |
| 村田忠次郎議員 | ①瀬戸選手支援の現状と今後の方針
②浪江町支援は、現状のままで良いのか
③児童生徒の学力向上 |
| 岡野 勉議員 | ①町の防災対策
②福島避難者対策 |

※内容については、各人の原稿をもとに、質問順で掲載しました。質問順は抽選により決定されます。

町が壊れる！もう大型店舗はいらない

決定は決定である

長瀬 衛 議員

問 10年後、町人口は3・2万人と想像を絶する。現在、町には大型スーパー5店や中堅の店舗など飽和状態。そんな中、役場や大型スーパーが控える町中心地から僅か1・2km地点の葛貫地区企業誘致指定区域（工業・物流系）に新たに大型店舗

誘致はあり得ない。人口減少、高齡化で大変な経営を強いられる既存スーパーや地元商店が壊滅的な打撃を受けることは火を見るより明らかであり、買い物難民の増加や住民生活の利便性低下など町の顔である中心市街地の疲弊と空洞化を招く。東部地区エリアは鳩山町の土木会社に社運を掛けた必死の

問 誘致活動で成果を収めている。それに比べ葛貫エリアでは、この2年半、真剣な誘致活動が行われていない。「誘致の幅を広げるため」としながら特定事業者との具体的な話を町長が主導しているというのがもつばらの噂だ。

答 私が特段、話を進めているわけではない。担当に対し、そういう問い合わせや来庁もある。私も会うことがある。その時は普通の話で帰っていただくというものである。

問 今年7月、商業施設の立地免蒙る。

答 私相談に来ている事業者のことである。

意見 大型店舗誘致はマイナス要因が大きい。雇用等で有利な工業・物流施設の誘致活動を行うべきだ。疑惑を招かない判断を求む。レベルの低い町政はご免蒙る。



葛貫地区企業誘致指定区域周辺



計画的に防災キット等の配備を

学校の非常用食糧、 食物アレルギーへの対応は

配備していないが、今後考えてまいりたい

小峰 明雄 議員

- 問** 余裕教室の教育目的以外への活用、ご見解は。
- 答** 他市町村の事例等も参考に、有効な活用が、図られるよう研究します。
- 問** 生徒の掛け替えのない命を守るために、登下校時の交通安全対策に、
- 問** 自転車で通学用ヘルメットの着用を考えますが、ご見解は。
- 答** 十分に協議を重ね、着用の義務化、奨励の実施を検討。
- 問** 平常時から、災害に備え児童・生徒が、自分自身の安全を守るための、意識や能力を身に付けさせることは、大切である。
- 問** 余裕教室の教育目的を考えたが、ご見解は。
- 答** 十分に協議を重ね、着用の義務化、奨励の実施を検討。
- 問** 平常時から、災害に備え児童・生徒が、自分自身の安全を守るための、意識や能力を身に付けさせることは、大切である。
- 問** 防災安全教育への取り組みは、
- 答** 防災安全教育が実践に対応するように指導・助言に努める。
- 問** 大規模災害の発生時に、園児・児童・生徒・教職員が、帰宅困難や一時保護等を想定した防災ヘルメットを含む、防災キットの配布、ご見解は。
- 答** 災害発生時の児童・生徒の安全確保を考えてまいります。
- 問** 「のびよ毛呂山つ子」の現状と課題等を、お伺い致します。
- 答** 幼・保・小・中の系統性が不足する。中学生版の内容を、より実態に即した精査が必要。
- 問** 某保育園が、数年後に閉園
- 答** いたしますが、低年齢児の入所が難しいと思うが、対応は。
- 答** 体制の強化を図っていく。
- 問** 総合公園体育館のトレーニング室の現状と課題等は。
- 答** 年間約14000人が利用。利用者のニーズに対応できるように、鋭意努力してまいります。
- 問** 介護予防や健康増進に、つながらる健康遊具を、身近な公園等に設置を考えるが、ご見解は。
- 答** 十分に検討してまいりたい。
- 問** 前久保中央公園をモデル事業とした健康遊具の設置。
- 答** 地域の意見を聞き、実施に向け鋭意努力。

町の将来像について

企業誘致を進めてまいります

平野 隆 議員

- 問** 企業誘致に伴う雇用人数、
- 答** 企業誘致に伴う雇用人数、
- 問** 農作物の被害状況
- 答** 今年の台風や猛暑の被害は、
- 問** 被害はない。
- 答** 被害はない。
- 問** 鹿や猪の被害の程度。その対策は。
- 答** 鹿や猪の被害の程度。その対策は。
- 問** 夏野菜に対する被害を確認。
- 答** 夏野菜に対する被害を確認。
- 問** アライグマは箱わなによる捕獲。
- 答** アライグマは箱わなによる捕獲。
- 問** 鹿や猪は越生猟友会毛呂山支部に駆除をお願いしている。農家
- 答** 鹿や猪は越生猟友会毛呂山支部に駆除をお願いしている。農家
- 問** により電気柵、板柵、トタン柵を設置し被害防止を図っている。
- 答** 電気柵の安全対策は万全か。
- 問** 町としても指導している。
- 答** 町としても指導している。
- 問** マイナンバーについて
- 答** マイナンバーについて
- 問** 町の対応と周知について。
- 答** 町の対応と周知について。
- 問** 現在準備を進め、広報、ホームページ等で周知に努める。
- 答** 現在準備を進め、広報、ホームページ等で周知に努める。
- 問** 個人情報等のセキュリティは万全か。
- 答** 個人情報等のセキュリティは万全か。
- 問** 鶴舞橋の安全対策
- 答** 鶴舞橋の安全対策
- 問** 以前より事故の多い鶴舞橋の対策は。
- 答** 以前より事故の多い鶴舞橋の対策は。
- 問** 車両の速度低減、更なる注
- 答** 車両の速度低減、更なる注
- 問** 意喚起等、対策を講じ周辺住民の理解を得る。
- 答** 意喚起等、対策を講じ周辺住民の理解を得る。
- 問** 登校困難児童生徒の現状
- 答** 登校困難児童生徒の現状
- 問** 町では人数や状況をしっかりと把握しているのか。
- 答** 町では人数や状況をしっかりと把握しているのか。
- 問** 人数は、どの小中学校も減っているが、更に相談体制の整備と充実を図っていく。
- 答** 人数は、どの小中学校も減っているが、更に相談体制の整備と充実を図っていく。
- 問** 保護者へのフォローは。
- 答** 保護者へのフォローは。
- 問** いろいろな方向から保護者とともに対応できるように、担任、相談室、教育センター、役場との連携を強めて、フォローしていく。
- 答** いろいろな方向から保護者とともに対応できるように、担任、相談室、教育センター、役場との連携を強めて、フォローしていく。



開発中の東部エリア



移動スーパーで高齢者の支援を！

高齢者の買い物支援に

移動販売車を

非常に有効なものと考えて！

今後十分に協議する！

千葉 三津子 議員

高齢者の支援対策

問 超高齢化社会にあつて、一人暮らしや高齢者だけのご夫婦が増加している中、自動車など交通手段を利用する事が出来なく買い物に困る高齢者の支援対策を伺う。

答 社会福祉協議会で実施している高齢者お困りごと援助サービスや町内の有償ボランティア、ご近所の方のご協力で対応している。

問 現在、単身高齢者世帯と高齢者のみの世帯合計は、4183世帯になり総世帯の約30%弱

を占めている状況です。コンビニやドラッグストアは増えて来ていていると思うが、東部エリアにはスーパーがありません。行政と町内のスーパーと提携し移動販売車で町内を定期的に巡回する支援は如何か。

答 高齢者の買い物支援対策として非常に有効なものの一つと考える。様々な団体等から構成される協議体を設置し、どのようなサービスの形が有効であるか十分に協議する。

問 高齢者向き住宅の確保は。新規の整備、建て替えの予定はない。

問 高齢者向き耐火平屋建て住居を確保していくべきと思うが。

答 超高齢社会に向けて対象となる高齢者が増え続け、将来にわたり継続的な財政負担増が生じる事は明らかだ。今後町営住宅がセイフティネットとしての役割を果たせるよう努める。

18歳選挙権導入に伴う取組み

問 来年夏の参議院選挙よりの導入に際しての新有権者に対する啓発・周知は。

答 新有権者は670人、町選挙管理委員会でも若者の政治参加意識を促進する取組の検討・周知に取組む。

早急に安全対策を求む！

カラー舗装や路面標示の整備を検討致します

佐藤 秀樹 議員

安心・安全な町づくり

問 野久保線の開通や町道7号

部分の今後の対策を伺う。

路線の拡幅工事など、町の様子

答 野久保線に関しては、西入

も少しずつ変わってきているが、

間警察署と相談し対応、町道7

同時に危険な箇所も増えている。

号路線は、川角交差点東側と町

そこで野久保線の交差点と川角

道7号路線を結ぶショートカット

機能を持った道路整備を考え

ております。

路線と県道が接触するT字路の

問 野久保線の交差点は、先日

事故も発生した。是非とも早急に安全対策を求むが如何か。

答 カラー舗装や路面標示の整備を行う様、調整致します。

問 町道7号路線の方も道路の新設はいつ完成するかわからない。別の対応策を求む。

答 T字の縁石を削り、安全を確保致します。

空き家対策

問 空き家の対策は更地と再利用の考えがある。再利用に対し

支度金制度の導入が必要と考えるが如何か。

答 一、二年を目処に導入を検討致します。

プレミアム商品券

問 今の段階で、実施後の問題はるか。

答 今のところ問題はありません。

問 今後のチェック体制は。

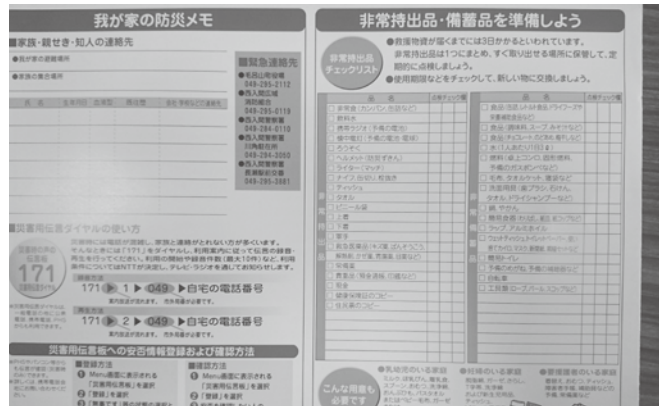
答 使用期限が今年の12月31日までで、事業所が行う換金期限は、来年1月29日

までで、同時にアンケートも回収致します。その後、

集計を行い、県及び国へ商品券事業の実績報告を3月上旬に行う予定となっております。



早期安全対策を求められている交差点



3日分の数量を明記した備蓄チェックリストを！

チェックリストに

3日分の備蓄の提示を

分かりやすいものを作って
いけたらと考えている

荒木 かおる 議員

地域防災

問 県では自主防災組織のリーダー養成講座が開かれており、町内のリーダーも参加されているが受講後はどうのように地域で実践されているか、町のサポートはあるか。

答 調査はしていないが研修等で得た内容を各地区の防災活動に役立てているものと考えている。

問 区長が毎年変わる自治会もあるが、自主防災組織のリーダーが区長さんでなく独自の自主防災組織を作っている自治会は

どのくらいあるか。

答 各自自主防災組織のリーダーが区長さんとなっている場合がほとんどだが、現在3組織が区長さんでないリーダーで組織されている。

れているが、具体的な量をチェックリストとして町民の皆様にご提示を提案するかがかか。

答 チェックリストについてはより分かりやすいものを作っていけたらと考えている。

平和教育

問 近年、高齢化などで町レク綱引きなど、選手を集めるのが大変になっている。町レクの種目に防災意識を高めるバケツリレーなどの種目を取り入れてはどうか。

問 今年は戦後70年。戦争体験をされた方も高齢化している。児童・生徒に、今ある平和を認めるうえで語り部を迎えて頂きたい。

答 町レクでの防災に関係する種目についてはよく調査し、検討して参りたい。

問 備蓄は最低3日必要とさせていただきます。

やぶさめ祭りを

町主催の行事へ！

神事・無形民俗文化財の

関係から難しい

下田 泰章 議員

問 流鏝馬祭を町主催の祭りに出来ないのであれば、町は観光で「毛呂山町の流鏝馬」とPRしているの、観覧席・駐車場・屋外トイレなど観光整備に協力するのは当然である。今後観光客を呼び込む策として、流鏝馬祭りを核に他の観光事業の

答 PRや特産物の販売促進の為に、神社周辺の公共施設を利用して、産業祭りとの同時開催は可能か。

答 同規模の開催は難しいが、福祉会館等の駐車場を利用して行えるように、関係団体と協議してまいりたい。

問 瀬戸大也選手は、過去に流

鏝馬祭りに乗り子として参加しています。町として流鏝馬祭りと瀬戸選手の活躍をPRする為に、当時の写真を福祉会館ロビーに展示するなど、相乗効果がある企画のお考えは。

答 ご意見を参考に来場者の増加と、PRにつながる企画を検討してまいりたい。

問 チャレンジ事業（町と商工会が協力して空き店舗を借り上げ、事業計画を検討している方に有料で貸し出す事業）医大集辺の立地に適している地域や、住宅密集地で徒歩圏内に物販商店が無い目白台地区など、小さ

な利便性も必要とされている中で、町としてこのような事業を行う考えはあるのか。

答 民間企業等からアイデアを

募集し、商工会と連携し地域と合った活性化を図ってまいりたい。



観光資源から観光財源へ！



根本的な解決策が待たれる床下浸水現場

西大久保地内床下浸水 被害について

県土木事務所に要望と協議を続けていく

澤田 巖 議員

問 昨年6月7日と今年7月16日台風等の影響による大雨で同所は二年連続で床下浸水被害にあっている。昨年の反省が生かされていないのでは。
答 大雨の際には町及び毛呂山水防団、県土木整

備事務所で排水ポンプを稼働し対応した。排水対策に向けて調査並びに対策を協議していく。
問 対策内容とは。
答 大雨時の水位や周囲の高さを調査、常設のポンプ設置等を検討している。

瀬戸大也応援について
問 8月9日ロシア・カザンで開催された世界水泳選手権で毛呂山町出身の瀬戸大也選手が男子400M個人メドレーで連覇を達成、来年ブラジル・リオ五輪の水泳日本代表内定を得た。今後の町としての応援や支援は。
答 町として体制を整え、関係各団体の方々のご意見やご協力を頂戴し「瀬戸大也選手を応援する会」と連携を取り支援組織を構築していきたい。
問 指定管理者制度について
答 民間の活力と発想力を取り

入れてより質の高い町民サービス提供と運営上でも経費削減出来る指定管理者制度は、現在順調に運営されているか。
答 現在四ヶ所の施設でこの制度を導入している。モニタリング制度により指定管理者に関する評価を実施、適切な施設管理をしていく。
問 現在随意契約で結ばれている指定管理者制度は、今後は一般入札での決定や民間資金活用を利用したPFI制度にすべき。
答 時代に合った制度を取り入れていく。

国保への財政支援で 国保税の減額を

毛呂山町国保会計は理想的

牧瀬 明 議員

問 2015年度から、毎年保険者支援として、約1700億円が配分されます。本年度の町国保への支援額とその用途は。
答 試算すると約6200万円です。国保会計に歳入されず、厚労省は、この財政支援で国保税を減額することも可能、

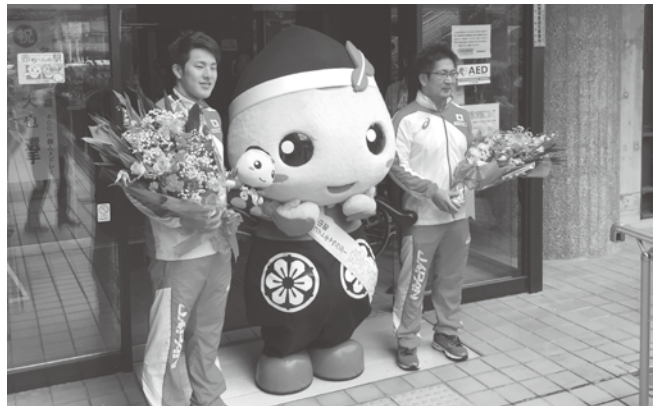
と説明しています。その支援額6200万円全額を使って、国保税(均等割)を引き下げはどうか。
答 インフルエンザなどの感染症等が発生すると相当な金額が必要となるので、余裕のある国保財政でないとカバーできない。

今は、私の公約である均等割を来年度から33000円を目標に緊急の課題となっている。
問 町長も認める高い均等割を引き下げて、国保加入者の負担を下げる視点が大切ではないか。
答 毛呂山町は、国・県が理想としている2方式にいち早くし、法定外繰出しを1000万円におさえ運営してきており、優等生であると評価されている。国保会計は、独立して運営することが基本で、毛呂山国保はそれに近い形で運営してきており、均等割35000円でバランスがとれてきている。

問 北海道の北見市は、この財政支援をあてて一人あたり約10000円の国保税を引き下げている。
答 町の姿勢しだいで、国保税の引き下げができるので、国保は、国保運営協議会に諮って運営している。ですから、私がなんでもかんでも下げるんだ、という話ではない。国保運営協議会で、過去・将来を考えていたで運営している。



安心して医療を受けられるように



町長表敬訪問の後、町民に祝福される瀬戸選手

町として、瀬戸選手への

今後の支援は

地元の後援会と連携し支援していく

協力を賜りたい

村田 忠次郎 議員

- 問** 瀬戸選手への今後の支援について
- 答** 町としての支援計画はできていない。町として、計画を立てるべきではない。選手とスケジュール調整が合わなかった。町としては川島選手の例を基に考え、連絡を密に進めていきたい。
- 問** 更なる活躍を期待しつつ検討し、今後の方針を固める。
- 答** 前回の金メダル獲得時に、計画を立てるべきではない。選手とスケジュール調整が合わなかった。町としては川島選手の例を基に考え、連絡を密に進めていきたい。
- 問** 平山区を中心とした「瀬戸選手を応援する会」との関係は
- 答** 8月9日のパブリックビューイングでは、町として後援をいたしました。今後はオリンピックに向けて瀬戸選手を応援するに当たっては、「瀬戸選手を応援する会」と緊密に連携していきたい。協力を賜りたい。
- 問** 浪江町への支援について
- 答** 浪江町への支援の現状は。町は被災地からの要望に合わせて物資などの増量や義援金の送付、ボランティア活動、応援ツアー等を行ってきた。
- 問** 現状把握の為に現地を視察したが、復興とはほど遠い、厳しい現状であった。今後、町からどのように支援するのか。
- 答** 町政全領域で長期にわたる支援が必要ではないか。
- 問** 今後も浪江町へは、意向を聞きながら継続的に支援を行っていくか。
- 答** 町単独での支援には限界がある。震災を風化させないために、被災地の現状を伝える活動も大切であり、講演会などが必要と考えている。
- 問** 浪江町から避難した方への配慮や支援は。
- 答** 福島県からの「ふくしまの今が分かる新聞」の配付や、家庭訪問しての現状聴取、他にも具体的支援を行っている。

大雨、床下浸水対策に

万全を！

大雨・台風シーズンに対応する

岡野 勉 議員

- 問** 7月15日、16日の大雨による町全体の被害状況をお聞きする。
- 答** 西大久保の件ですが、葛川放水路ができるまでは床下浸水などはなかった、考えられなかった。私も現地に行きましたが、Mさんの家は周りが畑で、30m東脇に放水路が流れ放水路の方が水位は高い訳です。
- 問** 地区で床下浸水があった。
- 答** 家を囲むブロック塀が目盛りとなつて水位が上がっていく状況がわかる。同僚議員が言っていました。一刻も早く「今か今か」とポンプ車の到着を3時間も待っていました。
- 問** 「浄化槽」は全体が水没し「悪臭」が出ている。空気ポンプ浄化プロアは使い物にならない。
- 答** プレハブ倉庫も水浸し、水位は床下の換気口も超えたわけでは
- 問** 昨年引き続き今年で2度目の被害。今後は飯能県土事務所の対応を強く要請します。
- 要望** 3度目の浸水は考えられない。9月10日は台風シーズン、町・県の万全な対策を要望する。
- 福島県からの避難者対策**
- 住宅支援・講演会など！**
- 問** 福島県から本町へ強制避難及び自主避難者を市町村別、世帯数でお聞きする。
- 答** 国・福島県の住宅支援の継続、「福島を風化させない」講演・交流会の開催を。
- 問** 強制避難は11世帯26名、自主避難者14世帯33名です。
- 答** 町としても福島震災・事故を風化させないために「講演会」及び「交流会」の開催を検討していきたい。



3度目の浸水は、あつてはならない(西大久保地内)

人事

教育委員会委員(再任)

村本 洋氏

毛呂山町岩井
昭和19年9月生

人権擁護委員

人権擁護委員候補の推薦についての諮問は、全員異議なく適任であるとの答申がなされました。

固定資産評価審査委員会委員

武野谷博之氏

比企郡ときがわ町瀬戸元上
昭和30年2月生

渡邊 満氏

川越市新宿
昭和18年6月生

波田 真澄氏

(再任)

初野 誠治氏

(再任)

毛呂山町葛貫
昭和27年10月生

毛呂山町滝ノ入
昭和19年6月生

全員協議会

【9月1日の議題】

○執行部協議事項

(1)毛呂山町教育委員会の職務に専念する義務の特例に関する条例について

(2)総合振興計画及び総合戦略について

(3)埼玉医科大学病院等への運営助成について

(4)その他

①マイナンバーについて

○議会協議事項

(1)議会運営委員会調査中の委員会審査のあり方について中間報告

(2)一部事務組合の代表者の報告

(3)その他

議会の動き

- 8月 6日 坂戸地区衛生組合議会定例会
- 7日 議会運営委員会視察
- 10日 西入間広域消防組合議会臨時会
- 11日 埼玉西部環境保全組合議会定例会
- 18日 広域静苑組合議会定例会
- 20日 毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合議会定例会
- 25日 議会運営委員会
- 9月 1日 } 第3回(9月)定例会
- ~18日 }
- 1日 全員協議会、議会だより編集委員会
- 9日 } 総務文教常任委員会
- 10日 } 生活福祉常任委員会
- 11日 }
- 25日 議会だより編集委員会
- 28日 西入間広域消防組合議会定例会
- 10月 7日 議会だより編集委員会
- 8日 } 2常任委員会合同視察研修
- 9日 } (長野県小川村、飯山市)
- 15日 } 入間郡町村議会議長会視察研修
- 16日 } (福島県下郷町)
- 20日 埼玉県町村議会議長会議員研修会
(吉見町民会館フレサよしみ)
- 11月 1日 第90号議会だより発行

次回定例会は12月です。

傍聴席

9月定例会傍聴者数

本会議日	傍聴者数(人)
9月1日(火)	1
9月2日(水)	31
9月3日(木)	49
9月4日(金)	9
9月7日(月)	2
9月8日(火)	2
9月18日(金)	0

あとがき

猛暑の夏も過ぎましたが、台風・豪雨の被害が甚大です。被災された方々は、今なお後片付けで大変なことと思われれます。

前号(89号)の「あとがき」で、「自然災害」は「毛呂山町も他人事ではありません」と記していますが、毛呂山町にも豪雨被害(床下浸水)を被られた家庭がありました。

毛呂山町防災訓練があり(9月13日、前久保中央公園)、消防団にロープの結い方を一つ教えていただき覚ええました。災害時に役に立つときがあるかも。

(牧瀬 明)

編集委員

委員長 弓田 茂樹
副委員長 荒木かおる
委員 下田 泰章
委員 平野 隆
委員 澤田 巖
委員 牧瀬 明

アドバイザー

(議長) 堀江 快治